

やすらぎ通信

第62号（平成28年1月1日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

（写真号）

睦月（むつき）



（コスモス会の清水ミツ子さんの作品より）

今月の風景



横浜市では、「世界を魅了する最もスマートな環境未来都市」の実現を目指しており、中でも、みなとみらい21地区は事業開始から30年が経過し、災害に強く快適な都市空間や水と緑を活かした街などが整備されてきました。次期構想として、「みなとみらい2050プロジェクト」が既にスタートしているようです。

この景観は普段横から見ることが多いと思いますが、ランドマークタワーの70階から撮影してみました。

みなとみらい21地区の「海」、「港」、「広々とした空」のあるオープンな空間では心地よい時間を過ごすことができ、KIです（かなり癒されます）。

（薬局長 室井政子撮影「癒しの空間『みなとみらい21』」（撮影地：横浜市）

編集後記

あけましておめでとうございます。今年もやすらぎ通信は、読者の皆様に当センターの最新情報をお届けしてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

申年ということで、昨年10月に開催した患者作品展に展示されていた、とても愛らしいお猿さん達を表紙に選びました。一匹一匹の表情が豊かで、今にも動き出しそうですね。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・ 投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・ タイトル、撮影日時、場所についてコメントをメール本文に記載ください。
- ・ 作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。